

2025(令和7)年度 総合型選抜(編入学試験) 問題

(英語文化コミュニケーション学科 学科別試験)

注 意 事 項

- 1 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 2 試験時間中は必ず受験票を机の上におくこと。
- 3 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル(黒い芯に限る)」、「消しゴム」、「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」、「時計(辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)」、「眼鏡」、「ハンカチ」、「ティッシュペーパー(袋から中身を出し中身だけ置く)」、「目薬」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。和歌、格言等が印刷されているものは使用できません。また、マーカーペン等は使用できません。
- 4 試験時間中は「時計のアラーム」を使用してはいけません。
「耳栓」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
通信機能のある機器(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等)は使用できません(それらを所持している場合は、かばん等にしまっておいてください)。
試験時間中に、通信機能のある機器をかばん等にしまわず身につけていたり、触れていたりした場合は、失格とします。
- 5 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
解答用紙の解答欄に解答以外のこと(受験番号、氏名、出身学校等)を記入すると失格になることがありますので注意してください。
- 6 問題の内容については質問できません。印刷の不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に聞いてください。

聖 心 女 子 大 学

次の文章を読み、後の問に答えなさい。

著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

los origenes (スペイン語) 起源
castellano (スペイン語) カスティーリャ語 (スペイン本土で使用されるスペイン語)
Nuyoricans アメリカ合衆国とくにニューヨーク市に住んでいるプエルトリコ人
quiero más (スペイン語) もっと欲しい
a la fuerza (スペイン語) 力ずくで

(Ariel Dorfman, "Breaking Down the Glass Walls of Language," *Becoming Americans: Four Centuries of Immigrant Writing*, edited by Ilan Stavans, 2009, pp. 350-51 より)

問1 下線部(1)~(9)の語句の、文中での意味に最も近いものをそれぞれ1つ選び、番号で答えなさい。

- (1) crept
① burdened ② flew ③ grew ④ recovered
- (2) recollected
① searched ② neglected ③ recognized ④ remembered
- (3) lodging
① catching ② presenting ③ recommending ④ staying
- (4) decisive
① crucial ② dedicated ③ exceptional ④ specific
- (5) secluded
① accommodated ② assisted ③ integrated ④ separated
- (6) segregate
① add ② contrast ③ fuel ④ isolate
- (7) emerge
① arise ② disappear ③ decrease ④ expand
- (8) mouthed
① ate ② bothered ③ reported ④ uttered
- (9) give birth to
① challenge ② generate ③ provoke ④ resign

問2 (ア)~(オ)の空所に入れるのに最も適切な語をそれぞれ1つ選び、番号で答えなさい。

- (ア) ① what ② which ③ where ④ whom
- (イ) ① against ② from ③ into ④ towards
- (ウ) ① accord ② contact ③ regards ④ terms
- (エ) ① closeness ② depth ③ distance ④ length
- (オ) ① alternative ② convention ③ change ④ role

問3 3段落目の波線部の the cold and undeniable fact の表す内容を日本語で説明しなさい。

問4 本文の [] に当てはまるように以下の [] 内の語の番号を正しい順序に並べ替え、2番目と5番目の語の番号を書きなさい。

[1] around everywhere 2) be 3) floating 4) my mother tongue, Spanish 5) would]

問5 Out of sheer necessity の具体的内容を明らかにしながら二重下線部を日本語に訳しなさい。

問6 スペイン語話者の著者は幼い時にニューヨークの病院で初めて英語に出会った時の鮮烈な経験を語っています。あなたは初めて英語に接した時どのように感じましたか。英語との出会い、または英語学習についての自分の経験を150語程度の英語で述べなさい。

二〇二五（令和七）年度 総合型選抜（編入学試験） 問題

（日本語日本文学科 学科別試験）

注意事項

- 一 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 二 試験時間中は必ず受験票を机の上におくこと。
- 三 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル（黒い芯に限る）」、「消しゴム」、「鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）」、「時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）」、「眼鏡」、「ハンカチ」、「ティッシュペーパー（袋から中身を出し中身だけ置く）」、「目薬」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。和歌、格言等が印刷されているものは使用できません。また、マーカーペン等は使用できません。

- 四 試験時間中は「時計のアラーム」を使用してはいけません。

「耳栓」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。通信機能のある機器（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等）は使用できません（それらを所持している場合は、かばん等にしまっておいてください）。

試験時間中に、通信機能のある機器をかばん等にしまわず身につけていたり、触れていたりした場合は、失格とします。

- 五 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
解答用紙の解答欄に解答以外のこと（受験番号、氏名、出身学校等）を記入すると失格になることがありますので注意してください。

- 六 問題の内容については質問できません。印刷の不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に聞いてください。

聖心女子大学 二〇二五（令和七）年度 編入学試験 問題
（日本語日本文学科 学科別試験）

―― 次の文章は今井むつみ・秋田喜美『言語の本質―ことばはどう生まれ、進化したか―』の一節を一部改変したものである。この文章を四〇〇字以内で要約しなさい。

著作物の使用部分については著作権の関係により掲載できません

聖心女子大学 二〇二五（令和七）年度 編入学試験 問題
（日本語日本文学科 学科別試験）

著作物の使用部分については著作権の関係により掲載できません

聖心女子大学 二〇二五（令和七）年度 編入学試験 問題
（日本語日本文学科 学科別試験）

著作物の使用部分については著作権の関係により掲載できません

（注1）環境音——言語の音や音楽の音以外の、身の回りから聞こえてくる音。

（注2）身体に接地する——ここでは「身体に結びつく」「身体に根ざした経験を持つ」意。

本書の「はじめに」で筆者らは、「ヒトはことばを覚えるのに、身体経験が必要だろうか？」という問いを立てている。

二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改め、⑥～⑩の傍線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 祖母は二十年間地域で民生委員をツトめた。
- ② 過去をセイサンして新たな一步を踏み出す。
- ③ その新規計画にセイサンがあるのか疑問だ。
- ④ 不正を行った企業の責任をツイキユウする。
- ⑤ 画家は創作で自らの理想をツイキユウする。
- ⑥ 対象に視線を向け、駐留させるといふ眼球の運動。
- ⑦ その単語の意味を理解しているか否かを問う問題。
- ⑧ 被験者の情報処理能力に大きな負荷がかかる実験。
- ⑨ サリバン先生はヘレンの手のひらに文字を綴った。
- ⑩ その時ヘレンは言語についての偉大な啓示を得た。

三 次の①～③の語句について、それぞれ知るところを述べなさい。

- ① 八代集
- ② 樋口一葉
- ③ 役割語

2025(令和7)年度 編入学試験問題

(史学科 学科別試験)

注 意 事 項

- 1 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 2 試験時間中は必ず受験票を机の上におくこと。
- 3 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル(黒い芯に限る)」、「消しゴム」、「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」、「時計(辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)」、「眼鏡」、「ハンカチ」、「ティッシュペーパー(袋から中身を出し中身だけ置く)」、「目薬」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。和歌、格言等が印刷されているものは使用できません。また、マーカーペン等は使用できません。
- 4 試験時間中は「時計のアラーム」を使用してはいけません。
「耳栓」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
通信機能のある機器(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等)は使用できません(それらを所持している場合は、かばん等にしまっておいてください)。
試験時間中に、通信機能のある機器をかばん等にしまわず身につけていたり、触れていたりした場合は、失格とします。
- 5 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
解答用紙の解答欄に解答以外のこと(受験番号、氏名、出身学校等)を記入すると失格になることがありますので注意してください。
- 6 問題の内容については質問できません。印刷の不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に聞いてください。

I

歴史的事件にかかわる以下の語群の中から、任意の4つを選び、その内容、歴史的意義について知るところを、それぞれ4行以内で簡潔に述べなさい。(1枚目の解答用紙を用い、それぞれの解答の冒頭に、(a)～(p)の記号を付すこと。なお解答は、記号の順序どおりでなくても構わない。)

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------------|
| (a) アヘン戦争 | (b) インド大反乱 | (c) 大塩平八郎の乱 | (d) 米騒動 |
| (e) ロシア革命 | (f) 十字軍 | (g) 承平・天慶の乱 | (h) 白村江の戦い |
| (i) 西南戦争 | (j) 第二次世界大戦 | (k) ナチ党 | (l) パレスチナ分割案 |
| (m) フランス革命 | (n) 関ヶ原の戦い | (o) 和田合戦 | (p) 島原・天草一揆(島原の乱) |

II

「ある国が経験した非常事態(他国との戦争、国内で生じた内乱、感染症の流行、自然災害など)によって、その国にどのような変化がもたらされたか」を、具体的な事例を挙げて説明しなさい。(2枚目の解答用紙を用い、冒頭にその国名と非常事態の名称を記すこと。3枚目の解答用紙は下書きに用いてよい。)

2025(令和7)年度 総合型選抜(編入学試験) 問題

(人間関係学科 学科別試験)

注 意 事 項

- 1 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 2 試験時間中は必ず受験票を机の上におくこと。
- 3 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル(黒い芯に限る)」、「消しゴム」、「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」、「時計(辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)」、「眼鏡」、「ハンカチ」、「ティッシュペーパー(袋から中身を出し中身だけ置く)」、「目薬」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。和歌、格言等が印刷されているものは使用できません。また、マーカーペン等は使用できません。
- 4 試験時間中は「時計のアラーム」を使用してはいけません。
「耳栓」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
通信機能のある機器(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等)は使用できません(それらを所持している場合は、かばん等にしまっておいてください)。
試験時間中に、通信機能のある機器をかばん等にしまわず身につけていたり、触れていたりした場合は、失格とします。
- 5 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
解答用紙の解答欄に解答以外のこと(受験番号、氏名、出身学校等)を記入すると失格になることがありますので注意してください。
- 6 問題の内容については質問できません。印刷の不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に聞いてください。

(人間関係学科 学科別試験)

問 1: 資料 1 の表は、新入社員の管理職志向について入社 1 年目、3 年目、5 年目に調査した結果です。どのような傾向が読み取れるか 180 字程度で説明してください。

問 2: 資料 2 は管理職の女性 A さん、B さん、C さんに仕事についてインタビューした結果をまとめたものです。次の質問(1)、(2)、(3)について、A さん、B さん、C さんそれぞれについて答えてください。

(1) A さん、B さん、C さんが経験した、働くうえで女性が不利だったことはなんですか。400 字程度で述べてください。

(2) A さん、B さん、C さんは、どんな点が評価されて管理職になったと思っていますか。400 字程度で述べてください。

(3) A さん、B さん、C さんからみて、管理職になってよかったことはなんですか。400 字程度で述べてください。

問 3: あなたは入社 5 年目の会社員(女性)から、「管理職になりたくないのに、会社で管理職をめざしてがんばれと言われ、いやでしょうがない」との話を聞きました。あなたはどんなアドバイスをしますか。資料 1 と資料 2 の内容を踏まえて、アドバイスの内容を 600 字程度で述べてください。

出典

資料 1: 大槻奈巳 2024「昇進——自分のやりたいことを実現する立場」駒川智子・金井郁編著『キャリアに活かす雇用関係論』世界思想社。

資料 2: ——2019「女性管理職の声から考える——管理職志向の変化と職場重視モデル」大沢真知子編著・日本女子大学現代女性キャリア研究所編集『なぜ女性管理職は少ないのか』青弓社。(一部省略および改変)

資料1

著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

資料2(1枚目)

著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

資料2 (2枚目)

著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

資料2(3枚目)

著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

2025(令和7)年度 総合型選抜(編入学試験) 問題

(国際交流学科 学科別試験)

注 意 事 項

- 1 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 2 試験時間中は必ず受験票を机の上におくこと。
- 3 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル(黒い芯に限る)」、「消しゴム」、「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」、「時計(辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)」、「眼鏡」、「ハンカチ」、「ティッシュペーパー(袋から中身を出し中身だけ置く)」、「目薬」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。和歌、格言等が印刷されているものは使用できません。また、マーカーペン等は使用できません。
- 4 試験時間中は「時計のアラーム」を使用してはいけません。
「耳栓」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
通信機能のある機器(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等)は使用できません(それらを所持している場合は、かばん等にしまっておいてください)。
試験時間中に、通信機能のある機器をかばん等にしまわず身につけていたり、触れていたりした場合は、失格とします。
- 5 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
解答用紙の解答欄に解答以外のこと(受験番号、氏名、出身学校等)を記入すると失格になることがありますので注意してください。
- 6 問題の内容については質問できません。印刷の不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に聞いてください。

聖 心 女 子 大 学

(国際交流学科 学科別試験)

【問題】資料1を読み、以下の問1～問3に答えなさい。

- 問1. 「国際化」と「グローバル化」の違いを踏まえ、筆者の考えを300字以内で要約しなさい。
- 問2. あなたが国際交流学科に編入して学びたい分野を1つ取り上げ、その分野においてグローバル化がもたらす課題を説明し、あなたの意見を述べなさい。
- 問3. 問2で述べたあなたの意見の要約を、英語で作成しなさい。

資料1. 出典：伊豫谷登士翁『グローバリゼーションとは何か 液状化する世界を読み解く』
平凡社（2002年）pp.35-37より抜粋。

(国際交流学科 学科別試験)

【資料1】

著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

2025(令和7)年度 総合型選抜(編入学試験) 問題

(心理学科 学科別試験)

注 意 事 項

- 1 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 2 試験時間中は必ず受験票を机の上におくこと。
- 3 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル(黒い芯に限る)」、「消しゴム」、「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」、「時計(辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)」、「眼鏡」、「ハンカチ」、「ティッシュペーパー(袋から中身を出し中身だけ置く)」、「目薬」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。和歌、格言等が印刷されているものは使用できません。また、マーカーペン等は使用できません。
- 4 試験時間中は「時計のアラーム」を使用してはいけません。
「耳栓」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
通信機能のある機器(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等)は使用できません(それらを所持している場合は、かばん等にしまっておいてください)。
試験時間中に、通信機能のある機器をかばん等にしまわず身につけていたり、触れていたりした場合は、失格とします。
- 5 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
解答用紙の解答欄に解答以外のこと(受験番号、氏名、出身学校等)を記入すると失格になることがありますので注意してください。
- 6 問題の内容については質問できません。印刷の不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に聞いてください。

(心理学科 学科別試験)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大期において、感染防止のために私たちの生活様式にはさまざまな変化が生じました。その生活様式の変化をいくつか取り上げ、それらが子どもの心に与えた、もしくは、今後与えうる影響について、心理学的な観点から論じなさい(解答用紙の裏面も使用可)。

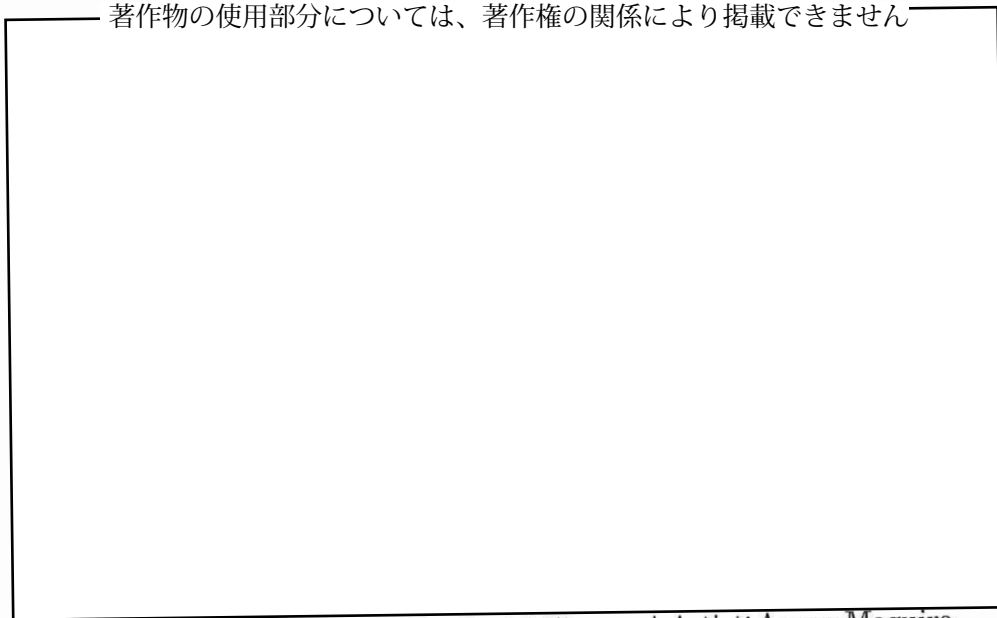
2025(令和7)年度 総合型選抜(編入学試験) 問題

(教育学科 教育学専攻 学科別試験)

注 意 事 項

- 1 監督者の指示があるまで開かないこと。
- 2 試験時間中は必ず受験票を机の上におくこと。
- 3 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、「鉛筆・シャープペンシル(黒い芯に限る)」、「消しゴム」、「鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)」、「時計(辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)」、「眼鏡」、「ハンカチ」、「ティッシュペーパー(袋から中身を出し中身だけ置く)」、「目薬」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。和歌、格言等が印刷されているものは使用できません。また、マーカーペン等は使用できません。
- 4 試験時間中は「時計のアラーム」を使用してはいけません。
「耳栓」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
通信機能のある機器(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等)は使用できません(それらを所持している場合は、かばん等にしまっておいてください)。
試験時間中に、通信機能のある機器をかばん等にしまわず身につけていたり、触れていたりした場合は、失格とします。
- 5 解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。
解答用紙の解答欄に解答以外のこと(受験番号、氏名、出身学校等)を記入すると失格になることがありますので注意してください。
- 6 問題の内容については質問できません。印刷の不鮮明なところがあった場合は、手をあげて監督者に聞いてください。

今、教育現場をはじめさまざまな場で「エクイティ」という言葉が注目を集めています。下の図を参考にして、「学校教育におけるエクイティの実現」についてあなたの考えを述べなさい(600-800字)。



著作物の使用部分については、著作権の関係により掲載できません

出典 : Interaction Institute for Social Change | Artist: Angus Maguire